

・ 2001年改正（高齢者の負担を定額負担→1割負担）における受診日数の変化はどのように見込み、また、結果としてどの程度変化したのか。

- 御指摘の改正の施行は2001年1月です。この改正に伴う長瀬式による受診日数の変化の理論値は▲0.7%となります。
- 一人当たり受診日数の2001年1月～12月平均の2000年1月～12月平均に対する変化率を機械的に計算すると▲4.4%でした。
ただし、これは、介護保険法の施行（2000年4月）直後であり、医療保険による給付から介護保険による給付への移行と重なっており、実績として長瀬効果だけを抜き出した効果の観測が困難です。

・ 2002年改正（高齢者の現役並み所得者について1割負担→2割負担）における受診日数の変化はどのように見込み、また、結果としてどの程度変化したのか。

- 御指摘の改正の施行は2002年10月です。この改正に伴う長瀬式による受診日数の変化の理論値は▲0.8%となります。
- 一人当たり受診日数の2002年10月～2003年9月平均の2001年10月～2002年9月平均に対する変化率を機械的に計算すると▲4.5%でした。
ただし、これは、長期投薬の解禁（2002年4月）直後であり、長期投薬による受診日数の減少と重なっており、実績として長瀬効果だけを抜き出した効果の観測が困難です。